

平成30年1月30日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(93回)報告

30.1.31 いきがい大学熊谷学園校友会づくり「火曜コース」 熊谷市弥藤吾

1月26日に続き今日は「熊谷学園校友会づくり・火曜コース」の専攻課程「健康元気科」及び「シニアライフ科」を対象とした説明会中での活動事例公演です。

妻沼庁舎へ行く国道407号線は朝から大渋滞で、10時授業開始時刻に遅れた学生もいたとの事でしたが、「校友会づくり」の説明会は予定通り10時30分から始まりました。

前回と同様、最初に小林安則所長と中島武久熊連協会長の挨拶があった後に公演が始まりました。今日の学生さんは「健康元気科」及び「シニアライフ科」といずれも、卒業後にいつまでも元気であるために、どのような形で過ごすのかを勉強している科で、「南京玉すだれクラブ」の活動事例は的を得た授業ではないかと確信しています。

時間になり司会者の紹介で、メンバー3人が入場しました。

今日は舩田さんが欠席で「南京玉すだれクラブ」の口上は栗原さんにお願ひし演技が開始されました。口唄が始まると自然発生的に学生の間から手拍子は聞かれ気分上々でした。「玉すだれ」のトークでは「すだれ」の動きにビックリし、同時にその仕組みの巧妙さに感心していました。続いて「麦畑」を演じました。この曲は二人ペアで演じるもので3人の出演では少し寂しい演技になってしまいました。「サザエさん体操」では前回同様に、全員の人に起立してもらいみんなで体操しました。最後に「きよしのズンドコ節」を行い25分の事例公演が終わりました。その後小林所長さんに「在学中から卒業時にそのまま抵抗なく、社会貢献できる体制を授業の中に取り入れると良いのでは」という話もして妻沼庁舎を退出しました。



